



# 笑顔の ひろば

vol. **26**

秋号

発行

2014年9月15日  
川崎協同病院広報委員会

川崎市川崎区桜本 2-1-5  
TEL:044-299-4781(代)  
FAX:044-299-4788

<http://www.kawasaki-kyodo.jp>

## カテーテル治療が拡大！充実！！



循環器チームのメンバー。上左から石井科長、田中院長、堀井医師、  
左下は初期研修でローテート中の齊木医師

川崎協同病院は地域の皆さんの健康を守る“地域医療”主体の病院です。地域医療とは近接性・継続性・包括性・協調性・文脈性を備えた医療であり、高度専門医療ではなく、プライマリケアを中心とします。くだけて言うならば、身近であって（近接性）・世代を超えた付き合いであって（継続性）・社会的な背景まで包括して（包括性）・専門病院との連携が取れていて（協調性）・患者さんの事情を理解した（文脈性）医療です。患者さんが必要とする医療を提供することをモットーとする当院では特に大切にしている医療のあり方です。

しかし!! そんなプライマリケア主体の地域医療を大切に当院でも得意とする専門分野を持ち、Specialistとしてプライマリケアを支える医師もいます。私は現在9年目になる循環器内科の医師です。初期研修から当院で研鑽を積み、7年間はプライマリケアを中心に自分なりに地域医療を行ってきました。

その後、循環器内科医として、心臓や足の動脈に対する血管カテーテル治療の研修を行うため、専門病院で1年間外部研修を行いました。言葉では表しきれないほどの、その劇的な治療効果の魅力に魅せられ、2013年の秋に研修を終えて当院へ帰ってきたときには、“この地域で専門的治療であるカテーテル治療を行いたい!!”このような目標を抱いていました。

当院には心臓カテーテル装置が1台あり、専用のカテーテル室が24時間体制で稼働可能な状態です。今までは、かかりつけの患者さんが狭心症を発症した場合などに限ってカテーテル治療を行う程度でしたが、これからはかかりつけではなくても近隣の地域の方や、他院に定期通院をされている患者さんのカテーテル治療も積極的に行っていきたいと考えています。

### 地域の皆さまへ…

これまでカテーテル治療が必要な患者さんには遠方の病院まで通われ、また差額ベッド代の必要な病院に行かざるを得ない状態だったと思いますが、これからは是非当院で治療を受けていただけたらと考えております。

### 開業医の先生方へ…

当院の循環器チームは外来部門を担っている協同ふじさきクリニックを含め、4人の医師が常勤しておりますので、虚血性心疾患や下肢閉塞性動脈硬化症の疑われる患者様がいらっしゃいましたら、是非当院および協同ふじさきクリニックまでご紹介頂けますと幸いです。

これまで通りの地域医療を行いつつ、併せてカテーテル治療も積極的に行っていきたいと切に考えておりますので、ご連携賜ります様、お願い申し上げます。

循環器内科 科長 石井 愛

# 新MRI稼働から半年！活用が大きく広がっています！！



新しいMRIの活用拡大について語る福永医師

新しくなったMRIが稼働を始めて約半年が経ちました。  
どのように活用が拡大したのでしょうか？  
放射線科科長の福永医師に話を聞きました。

MRI検査は強力な磁石にて高磁場環境を作り出し、電波・磁気の利用して体のあらゆる断面の画像を得ることができる撮影方法です。以前の機器よりも磁力が大幅にパワーアップし、より精細な検査が可能になりました。大きく向上したのが6点です。

1つ目は頭部の画像です。新機種で最も威力を発揮する分野です。超急性期の脳梗塞やくも膜下出血の原因となる脳動脈瘤の発見が格段に向上しました。2つ目が脊椎で、腰椎椎間板ヘルニアなどの腰痛を起こす病気の診断に役立ちます。3つ目に膝・肩関節があります。X線

撮影では診断困難な関節の靭帯や半月板などの繊細な組織を明瞭に描出することができ、診断をつけるのに極めて有効です。4つ目が骨盤部で、子宮がん・卵巣腫瘍や前立腺腫瘍の発見や病変の広がりを診るのに有用です。5つ目に胆嚢・胆管・膵管の描出です。これまで困難だった胆石や胆管・膵管の拡張や狭窄を診断できます。最後に乳腺ですが、乳房にできた腫瘍と正常乳腺組織を区別することができ、乳がんの広がりを正確に診断し、乳房温存手術が可能かどうかの判断がより正確に出来るようになりました。

3月より新機種でMRI検査を再開し、現在では予約枠も一杯となっており、順調に稼働しています。さらに患者さんの治療に役立つことを期待すると同時に、近隣の開業医の先生方にも気軽に利用していただける連携の仕組み作りを進めています。どうぞご利用下さい。

放射線科科長 福永 淳

## 外来医事課 って どんなトコ？

患者さんの“困った”を察知し、  
安心してもらえる窓口を心掛けています。

こんにちは。外来医事課です。外来医事課は、常勤・パート合わせて25人の大所帯です。入ったばかりの新人からベテランまで幅広い年齢層で構成されています。私たちの仕事は総合案内・会計、各診療科の受付をはじめ各種書類対応や、診療資料の準備、電話対応など多岐にわたります。

「こんな症状だけど何科にかかったらいいのかな？」  
「会計はいくらくらいするんだろう…」など、病院に来られる方は様々な不安を抱えて来院されます。

日常の案内業務や会計業務の中でも常に患者さんの



外来受付では笑顔で患者さんをむかえます。

不安に対するアンテナの感度を高くし、特に経済的に困難を抱えた患者さんに対しては各種制度を紹介をしたり、相談課と連携して、支払を理由に治療中断されることがないように関わっていくことを心がけています。

患者さんや組合員さん、地域の方々が病院を訪れて一番最初に接する職員が私たちです。安心してかかり続けられる“病院の顔”として、笑顔でお迎えしたいと思います。いつでも窓口で気軽にお声かけください。

医事課 課長 溝口 貴子

# 私が担当します！

地域の方の日常生活が  
少しでも快適になるよう援助したい。



整形外科 部長 戸口 淳

1月に赴任した整形外科の戸口と申します。広く整形外科疾患を扱いますが、特に脊椎疾患を得意としています。

詳細な問診と診察による病状把握から各種検査を用いた病態把握、そして最も心がけているのが個々の患者さん合わせた治療を行うことです。投薬・体操指導・神経根ブロックなどの保存療法が主ですが、手術が必要になることもあります。その場合にも患者さんの病態に合わせた手術戦略を綿密にたて、手術顕微鏡などを使用し負担が少なく、より効果的な方法で手術を行います。

また、骨粗鬆症を基盤にした脊椎圧迫骨折の患者も多く、病状により装具による保存療法、人工骨充填による椎体形成術なども行います。さらに手術患者では理学療法士によるリハビリテーションも手術の効果を最大限に発揮するために重要です。

山口大学卒、横浜市立大学整形外科に入局、茅ヶ崎市立病院整形外科副科長、湘南鎌倉総合病院整形外科部長等を経て2014年1月より川崎協同病院整形外科部長として着任、「たかかう整形外科医」がモットー

現在は3-4件/月で脊椎手術を施行していますが、地域の方の日常生活が少しでも快適になるよう援助したいと思っています。

今後は最近注目されてきている、高齢者に多く見られる運動器症候群（ロコモティブシンドローム）や筋力・筋肉量減少を原因に日常生活が低下するサルコペニアの患者さんの早期発見や治療にも力を入れて行きたいと思っています。よろしく願い致します。

## STAFF「もうひとつの顔」

### ハワイアンの魅力に 取いつかれて

医局事務室 加川 竜



鎌倉のカフェでLIVE演奏

職場では、医師事務作業補助業務や病院ホームページの更新作業を担当しています。また、広報委員会のメンバーとして、本紙の編集にも携わっています。この8月には久しぶりに病院のホームページを一新しました。閲覧者の方の視点に立って作りましたので、ぜひご覧いただきご利用下さい。（裏表紙にQRコードを貼ってありますのでご利用ください。）

そんな私ですが、仕事を離れると音楽中心の生活です。かつてレコード店で仕事をしていたこともあり、家では所有する約3,500枚のレコードやCDをあれこれ聴く毎日です。中でもハワイアン音楽（ハワイアン）はコレクションの多くを占めています。

約30年前、大学で入部した軽音楽部の前身がハワイアン・クラブでした。たまたま部屋にスチール・ギターやウクレレがあったことから、ハワイ音楽にのめりこみ、レコードやCDを買い集め、スラック・キー・ギターも弾き始めました。

スラック・キー・ギターはハワイの伝統的なギター奏法です。曲ごとにギターのチューニングを変え、独特のフレーズを弾く演奏法で、Gabby PahinuiやRay Kaneなどが有名な奏者です。日本では山内雄喜が第一人者として長く活躍しています。CDが出ていますのでぜひ聴いてみてください。

現在は、タマシロ・マーケットというバンドに加わり、休みの日にライブ活動をおこなっています（<http://tamashiromarket.blog64.fc2.com/>）。みなさんもハワイアンを聴いて、夏の暑さを満喫してみてくださいはいかがでしょうか！



## 障害者や困窮者のための保護施設として 救護施設 聖風苑

病院は地域との連携が何より大切。近隣の医療、福祉関係の施設や機関を訪問し、毎回紹介しています。第6回は「救護施設 聖風苑」です。

(取材：地域連携室 鍵屋真理 高橋靖明)

「聖風苑」は、臨海部の工業地帯に近い産業道路沿いにあります。5階建ての建物に、デイサービス・障害者生活介護事業所などの事業所があり、そのなかで救護施設は、3・4・5階部分になります。

救護施設は、社会福祉法における第一種社会福祉事業で生活保護法に基づく保護施設です。身体上または精神上著しい障害があり、経済的な問題も含めて日常生活を営むことが困難な人が、健康に安心して生活するために入所しています。

聖風苑では、精神疾患がある人が約80%で、平均年齢は64.4歳ですが毎年上がっています。また親族がない人の割合も多いそうです。施設では、食事時間や入浴などの基本的な時間が決まっていますが、それ以外の時間は、入所者それぞれの状態に合わせ、機能回復訓練や映画・園芸・レクなどのサークル活動・教養文化活動などが行われています。

誕生日会や一泊旅行、お花見などの行事をはじめ、町内で開催される盆踊り大会や運動会に参加することもあり、地域に根差した生活をおくることができるようになっています。また、施設外就労として、入所者のなかには



もちつきを楽しむ入所者たち

千葉県は千葉県の施設で、きのこの袋詰め作業を行っている人などもいて、「いきいき働く姿には活力を感じる」と中石浩二施設長は話しています。

入所者のなかには、開設以来ここで暮らし

ている人もいて、まさに生活の場になっていることを実感しました。介護施設ではないので、入所して一定の介護が必要になったり医療的なケアが必要になった場合は退所しないといけないことがあります。その際の移行のタイミングを見極めるのが大変なようです。

また、今後は在宅生活ができるよう地域移行支援に力を入れていて、まずはそのためにアパートを借りて居宅生活訓練を行っていきけるようにしていきたいと意欲をのぞかせていました。



平成4年に開設した建物外観

### ● 協同病院へひとこと・・・

いつも利用者を受け入れていただきありがたく思っています。介護施設ではないので、ある程度自分で生活できないレベルだと受け入れが難しいので、早めに連携し対応していきたいです。

### ● おじゃまして・・・

利用者の意見を聞いて行事を立案したり生活環境の改善を行ったりと、利用者にとっての生活の場であることを意識して運営されている様子がとても強く感じられました。

社会福祉法人 川崎聖風福祉会

救護施設 ノーマ・ヴィラージュ聖風苑 施設長 中石 浩二  
川崎市川崎区池上新町3-1-8 044-287-2235

★お知らせ：4月から川崎協同病院の地域連携室連携課師長が鍵屋真理にかわりました。今号より鍵屋と高橋で「おじゃまします」を担当します。

## 広報系の ひとりゴト

2014年8月15日。69回目の終戦記念日でした。あの悲惨な戦争が集結して間もなく70年が経とうとしています。あの戦争を知る方々の多くは亡くなられ、戦争を語る方は少なくなっています。現在の日本は集団的自衛権容認への憲法解釈の変更など、平和国家への道のりとは逆の方向へ進もうとしています。先日、長崎原爆犠牲者慰霊平和祈念式典で田上富久長崎市長が読み上げた平和宣言の中で「～集団的自衛権の議論を機に『平和国家』としての安全保障のあり方について様々な議論が交わされています。～日本政府にはこの不安と懸念の声に、真摯に向き合い、耳を傾けることを強く求めます。」と述べられました。この宣言に国会議員が自身のブログで「具体的政治課題に言及すれば権威が下がる。～政治的選択について語りたなら長崎市長を辞して国政に出ることだ。」と批判されました。平和宣言で核なき世界と同時に戦争なき世界を語ることは自然な事であるように感じてなりません。患者さんを治し、癒す医療機関で働くスタッフとして平和な世界をこれからも求め続けていきたいです。

医局事務室 木下 博志

